

## 柳大使によるシリア難民キャンプの視察

2018年1月8日、柳秀直大使は、ヨルダン北部マフラク県に位置するシリア難民のためのザアタリ難民キャンプを訪問し、UNWOMEN、UNICEF及びJEN（Japan Emergency NGO）がキャンプ内で行っている活動状況を視察しました。日本をはじめとする、多数のドナー国の支援によって、シリア難民の生活が支えられている現状を確認することができました。

### 「UNWOMENの活動」

UNWOMENが日本の支援によって運営する女性支援センターでは、女性の生計支援、ジェンダー暴力の被害者の保護、女性のエンパワメントを目的とした支援が実施されている様子を視察しました。日本の支援を通じたUNWOMENの支援を受けて縫製技術を身につけた受益者が、難民キャンプ外の縫製工場での就労機会を得ることができており、シリア難民女性の自立が促進されていることを確認できました。



縫製作業室



託児所

### 「UNICEF及びNGOによる水・衛生活動」

日本の支援を受けて、UNICEF及び特定非営利活動法人JEN（Japan Emergency NGO）が実施する事業では、難民キャンプ内に上下水道管の敷設が進んでいることを確認することができました。難民キャンプ内には、既に3基の井戸が設置されており、難民一人当たり一日35リットルの水が安定的に供給されているとのことでした。



JENによる上下水道管の敷設状況に関する説明